

## 平成28年度第4回

# 恵那市男女共同参画プラン推進委員会【要約】

(平成28年度第5回「男女のわ」ネットワークとの合同会議)

日時：平成29年2月22日(水)午後1時00分～午後4時00分

場所：岩村振興事務所 大会議室

視察先－(有)耕グループ くわのみ

- 
1. 開会
  2. 推進委員会会長あいさつ
  3. 視察
  4. 視察後意見交換
  5. 議事
    - (1) 主な取組の進行状況について【報告事項】
    - (2) 来年度の取り組みについて【報告事項】
    - (3) その他
  6. 閉会
- 

### ■出席委員

坪井弥栄子会長、亀井邦子委員、伊藤正明委員、勝富子委員、吉村綾子委員、堀有希委員、村松訓子委員、三浦みゆき委員、保方多津美委員、奥村ひとみ委員、山田英明委員、渡辺熙之委員、足立伊公子委員、松永晴美委員、松尾かおり委員、佐藤暁彦副会長

### ■欠席委員

鈴木栄子委員、松永晴美委員

## 1. 開会

■事務局（司会）：平成28年度第4回恵那市男女共同参画プラン推進委員会、平成28年度第5回「男女のわ」ネットワークの合同会議及び視察を開会する。

（有）耕グループの繁澤代表取締役様、小林総務課長様、本日は視察にご協力をいただきありがとうございます。

## 2. 会長あいさつ

■会長：くわのみの皆様、本日はお忙しい中このような機会をつくっていただきありがとうございます。平成28～37年度の第2次恵那市男女共同参画プランがスタートし、9/1号広報で周知させていただいた。なお、9/1号広報には、くわのみの活動報告も掲載させていただき市民の皆さんの関心をずいぶん得たのではないかと考えている。今日は実際にお話を伺い、施設を見せていただき、意見交換ができたと思う。

国では、一億総活躍や女性活躍を言っているが、実施にあたっては環境ができていないといけない。くわのみでは、環境整備をされて男女が心から楽しく働いてみえろと聞いておりますので、本日勉強させていただきたい。よろしくお願ひします。

## 3. 視察

■耕グループ：〔パワーポイントで取組説明〕

【会社概要紹介（約25分）】

【エクセレント企業に関連する取組紹介（約20分）】

### 【質疑応答】

■委員：子供同伴出勤がエクセレント企業認定時にも評価されていると思うが、当初、入所者の方と子供との間でご苦勞されたことはなかったか。

■耕グループ：周りのスタッフ全員が親代わりという感じで接している。くわのみキッズの取り組みで子供がいるのが当たり前前の雰囲気、自然に子供が来るようになった。それによつてのトラブルは時にない。

■耕グループ：認知症の方と子供の相性はいい。これからは、地域共生で障害の有無や子供からお年寄りまでが同じ建物や利用所内にいることを、国としても進める軸としている。これが社会一般の姿だと思う。

また、昔は託児所もやつていたのでその頃の思いが職員にもあつてこういう雰囲気ができているかもしれない。

■会長：感想ですが、小規模多機能で色々な度合いの方が一つの場所に集まつていて、それぞれの場所で色々な事ができていく。それによつてスタッフも向上心が発達す

ると思う。規模が適正だと思う。また、色々な事業がここへ入ってこれる、夢があると感じた。認知症の方だけのグループホームでは寂しい場所を感じるが、デイサービスなども一緒にやることによって施設の中が明るくなると感じた。

スタッフの平均年齢は何歳ですか。

■耕グループ：24歳から70歳くらいまで、60歳代も多い。平均は40前後だと思う。

児童養護施設を運営する平安養育院に東樹という若者の自立支援のグループホームがある。そこにみえた方に、くわのみの第一回の職員研修で、「大きくするばかりが良いことではない、縦糸は深く編まないといけない。」と言われた。組織が大きくなればなるほど、原点のマインドや職員の向上心や成長が図られない、薄まってしまふと感じる。

■委員：年休が取りやすいと伺いましたが、基準を上回る5.8人の職員配置とある。人件費は経営に最も直結してくると思うが、どのようにこれを実現しているのか。各職員の意見や要望はどのように取りまとめているのか。アンケートなのか意見箱なのかなどを伺いたい。

■耕グループ：やみくもに人数が多いわけではない。一人一人がプラスアルファの仕事をこなしている。介護職でも事務もやるなど。最低4名で基準は満たすが平均して5.8人。自分がその中に入っていたときは空いている時間に何かやれる仕事がないか探した。例えばNPOの仕事や車両の整備など。状況によって、現場が足りなければ現場へ、現場が足りていればプラスアルファの仕事に。それが直接利益につながらない仕事でも会社としてはプラスになるという考え方。

意見を集めるのは雑談などのコミュニケーションから。情報を収集し選別し、必要に応じて代表に投げかけていた。最近では、パートは1年毎に契約更新があるので来年度の希望を聞くのに合わせて面談も行っている。その場で、キャリアプランや介護の予定などを含めた家庭の状況などを把握している。

■委員：従業員の女性の比率が高い。耕グループの中では男女共同参画の不平不満はあるか。

■耕グループ：職員のご主人や子供さんと呼んで家族参加の行事をやっている。これが全てではないと思うが、家族との接触の機会を持つ事で起きた事象についてご主人の考えを聞いたりできる事も少しは効果があるのではないかと。

■事務局（司会）：この他質問があれば事務局へ言っていただいで、耕グループさんへお伺いしたいと思う。

## 【視察】

看護小規模多機能ホーム（登録制によりサービスを受ける。通所、泊まり可、在宅に訪

問の三つの機能があり看護師もいる。)を視察。

#### 4. 視察後意見交換

■事務局（司会）：合同会議を再開する。16時を目処に終了したい。会議次第の視察後意見交換を議事終了後に変更する。

■会長：議事に入る。

##### (1) 主な取組の進行状況について【報告事項】

■事務局：〔資料により説明〕

■男女のわネットワーク会員：〔家族でいっしょにみそ造り体験！での意見交換「テーマ：家庭での男女共同参画の取り組み」をグループ毎に報告〕

- ・若い男性は家事をわりとやる。高齢の男性（昭和一桁ぐらい）はやらない。
- ・60歳代後半以上の男性は、男子厨房に入るべからずという考えで家の事はしないが、この頃少しやるようになってきた。そのためには、男性を上手に褒める事が大切。
- ・ご主人が奥さんの負担を軽減しようと一生懸命やっているが、奥さんは私は何かやってほしいとは思っていないと言われ、夫婦の考えが噛み合っていない家庭があった。
- ・家庭の事をやっていた男性は、そんなにやると女房が怠けるからやらない方がいいと友達から言われてやっていないという事だった。しかし、こういう場へご主人が一緒に出てきてくれてうれしかったと言われたので何かつかんでもらえたと思う。
- ・受け持ち4家族とも男女共同参画という言葉を知っていた。
- ・若い世帯は、二人で働き、家庭の事も協力し合わないと成り立たないので自発的にやる状況になっているようだ。
- ・みそ造りは楽しんでもらえた。またあれば来たいといわれた。

■会長：先ほどの耕グループの視察でもパートナーの理解と協力が必要と言われたが、こういった事を男女共同参画の中でも進めていかなければいけないと思った。市役所でも、まだ小さい子供があるような係長ぐらいまでの若い職員は仕事から早く帰るが、役職が上がってくると自分が職場にいなければいけないような気になって職場に残る傾向にある。男女共同参画プランにも市役所の男女共同参画という項目があるので。市役所から見本を見せていただくこともいいと思う。早く家へ帰って、妻の手伝いではなく協力することをこれからも進めていけるといいと思う。

■事務局：広報えな7月1日号の記事を、推進委員のどなたかにお問い合わせできないか。

- 会長：伊藤さんに家庭での男女共同参画を書いていたので、企業の立場から松尾委員いかがですか。女性活躍の一般事業主行動計画に関する制度の内容でもいいと思いますが。みなさんいかがですか。
- 委員：内容はまた相談させていただきたい。引き受けさせていただく。
- 会長：7月は東海理化の松尾委員をお願いします。その後はまた指名をさせていただくかもしれませんのでよろしくお願いします。

## (2) 来年度の取り組みについて【報告事項】

- 事務局：〔資料により説明〕

## (3) その他

- 事務局：〔紙芝居の内容について〕〔次回の推進委員会の開催について〕  
次回の推進委員会は次年度早々に行う。紙芝居の内容についてご意見をいただきたい。
- 委員：紙芝居のストーリーのヒントは新聞に載っていた、男の子と女の子のつきたい職業ランキング。男の子と女の子は違い、子供なりに固定概念ができています。女の子がサッカー選手でも、男の子が幼稚園の先生でもいいんだよということを伝えるものにしたらいいのではないかと考えてみた。
- 会長：ママゴトは最近の子はやらないのではないかと。
- 委員：元気プラザへ行くとそういうおもちゃがあるからやるのではないかと。
- 委員：5年ほど市民三学大井委員会で紙芝居をつくっており、原画を描いて下さる方がいる。シナリオを渡してイメージを伝えると原画を描いてくれるのであとは色塗りをするだけだが、絵を見てシナリオを変えたりすることもあるので、やはり半年がかりくらいになると思う。
- 男女のわネットワーク会員：色のことがあるが、今はランドセルの色も子供に選ばせたりするし、男の子の色、女の子の色というのはあまりないのではないかと。  
対象は、小学校の低学年か。
- 委員：こども園を対象で考えている。
- 男女のわネットワーク会員：こども園ならいいと思う。小学校だとちょっと・・・と思った。
- 会長：小学校は入りにくい。こども園だとわりと入りやすいのでいいと思う。来年度の会議の際にまた修正後を見せてもらいたい。  
議事についてはこれで終わる。視察後意見交換にうつる。ご意見のある方はお願いします。

- 委員：感想を2点。事業所の入所者やデイサービスの利用者やスタッフを含めて、全員が一つの家族のように感じた。暖かいすごくいい所を見せてもらって自分も幸せに感じた。課長がお話をされるときに、隣に代表がみえるのにあれだけ色々なことをはっきり言える会社というのはあまりないだろうと感じた。
- 男女のわねネットワーク会員：地域に密着してやってみえるというのを感じていて、個人的に耕グループとつながりがあるが、耕グループの取り組みに関わると暖かい気持ちになって帰って来られる。地域に元気なお年寄りを増やしたいという気持ちが伝わってくる。
- 会長：開設資金を地域から出していただいたなど、地域から盛り上げていくというのをすごく感じた。地域から支えるというのは成功する絶対つぶれないと思う。
- 委員：どんな職員採用基準なのか。職員の意識が高いと感じたが、最初から意識の高い方が入られるのか、それとも入ってから会社の雰囲気などで意識が高まっていくのかどうなのだろう。  
もう一点は、奥さんが働きたいと思っても旦那さんの理解が必要。夫婦のビジョンを話し合い、お互いを分かりあえるような機会や場所をつくってあげることも一つ必要なのではないかと思う。
- 会長：くわのみへ入って何年かで必要な資格が取れてしまう。それに係る費用を会社が出してくれて、それに係る時間を勤務扱いにしてくれるという企業はなかなかないと思う。
- 男女のわねネットワーク会員：子供が帰ってくるまでとか、旦那さんの夜勤に合わせてなど、働く方の希望に沿ってもらえると聞いた。週1回働いている方などもある。女性が70人と多いようでしたが、そのような働き方をしてみえる方も多いのではないか。
- 事務局：勤務形態については確認する。
- 会長：次回の会議は来年度早々に開催する。

## 6. 閉会

- 会長：これで、平成28年度第4回恵那市男女共同参画プラン推進委員会を閉会する。